

3 / 20 校長講話

いよいよ今週で今学期が終わります。

皆さんは、「終わりよければすべてよし」という言葉を知っていますか。

意味は、「何かを進める過程で問題や失敗があつたとしても、結果的に成功すれば全て成功である」という物事を前向きに捉えることわざです。

この語源は、イングランドの劇作家シェイクスピアが広めたとも言われています。

皆さん、学校へ登校するのは、今日も含めて3日です。

「終わりよければすべてよし」です。自分自身後悔することなくこの3日間過ごし、次年度の弾みをつけてほしいと思っています。

さて、今週は、天気が良くないようです。

このように集まるのは最後かもしれません。

この隊形を改めて見ると両端に6年生と5年生が立っています。

この姿は、まるで高学年が下学年を守っているように見えます。

なかんずくこの一年間は、6年生が下学年をリードし、良い方向へ導いてくれました。また、全校の手本として全ての行事を立派にやり遂げていました。

そんな6年生も4日後に卒業式を迎えます。

在校生の代表として5年生が参加します。

ここで1年間のお礼の気持ちを込めて6年生へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。

私が「ありがとうございます。」と言ったら続いてください。

「ありがとうございました」

「ご卒業、おめでとうございます。」と言ったら「おめでとうございます」続いてください。

「おめでとうございます。」